

あなたのお住まいは 土砂災害に対して安全ですか？



安全チェックポイント1

自分の住まいが土砂災害のおそれのある場所にあるか確認しましょう

国土交通省 ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp>

土砂災害ポータルひろしま
<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/>

土砂災害ポータルひろしまについての問合せ先
 広島県砂防課 TEL：082-513-3945

安全チェックポイント2 | 災害のおそれがある場合

いざというときに、いつ、どのような行動をすれば良いか事前に
 考えておきましょう

台風・豪雨時の避難行動判定フロー

<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>

内閣府防災ホームページ「令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ」より

安全チェックポイント3 | 土砂災害が怖い、安全な場所で暮らしたい、事前の避難が難しい

住宅の土砂災害に備える改修や安全な場所への移転を考えて
 みましょう

移転支援

- 自宅が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内にある
- 避難指示等があっても、避難が難しい
- 今の場所を離れて、安心して暮らしたい

⇒ 土砂災害のおそれのある区域
 からの住宅の移転に補助金が
 活用できます

※
最大1,159万3千円支援

※危険住宅が木造100㎡の場合

改修支援

- 自宅が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内にある
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定される前に新築したので、土砂災害対策をしていない
- 今、不安があり、これからは安心して今の住宅に住み続けたい

⇒ 土砂災害対策の改修工事に
 補助金が活用できます

最大75万9千円支援

支援の詳細は裏面へ！

支援事業の紹介

移転支援 | がけ地近接等危険住宅移転事業

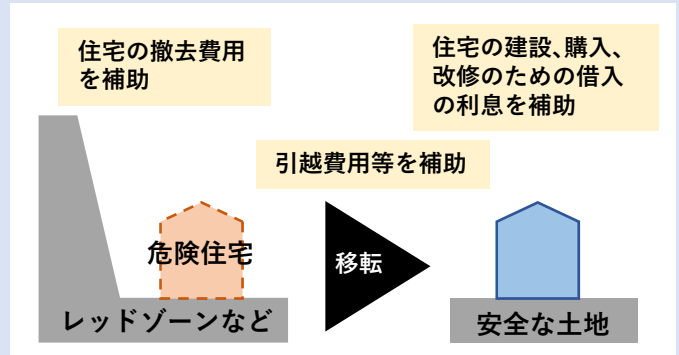
対象者

- 次の区域内の住宅（危険住宅）にお住まいの方
- ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
 - ・地方公共団体が条例で指定した災害危険区域
 - ・地方公共団体が条例で建築を制限している区域

支援内容

- ①危険住宅の撤去にかかる費用
限度額：木造住宅 3万3千円/㎡
非木造住宅 4万7千円/㎡
- ②引越等にかかる費用
限度額：97万5千円
- ③危険住宅に代わる住宅の建設、購入、改修のため、金融機関等から借入れた場合、その利息に相当する額
【通常】限度額：421万円/戸
(建物325万円/戸、土地96万円/戸)
【特殊地域】限度額：731万8千円/戸
(建物465万円/戸、土地206万円/戸、敷地造成60万8千円/戸)

- ※危険住宅の撤去を行う必要があります。
- ※特殊地域とは、特殊土地帯、地震防災対策強化地域、保全家10戸未満の急傾斜地崩壊危険区域、出水による災害危険区域をいいます。
- ※借入利率は年8.5%を限度とします。
- ※移転前の敷地は土砂災害特別警戒区域の指定がある限り宅地としての再利用はできません。



たとえば

- ①危険住宅（木造100㎡）の撤去に350万円かかる場合、補助金の額は**330万円**（3万3千円/㎡×100㎡）です。
- ②引越等に30万円かかる場合、限度額97万5千円以内のため、補助金の額は**30万円**です。
- ③借入金額2,000万円、金利1.3%（全期間固定、35年、元利均等払い）で借入れする場合、毎月の支払いは約5.9万円となり、受けられる補助金は利息に相当する**約490万円**です。
※移転後の住宅が特殊地域にある場合

改修支援 | 土砂災害対策改修に関する事業

対象者

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定される前からある住宅にお住まいの方

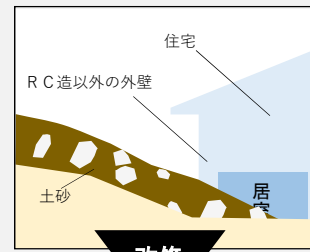
支援内容

土砂災害対策のための鉄筋コンクリート造(RC造)の壁や塀などの建設にかかる費用の一部
(補助率：23% 限度額：75万9千円/棟)

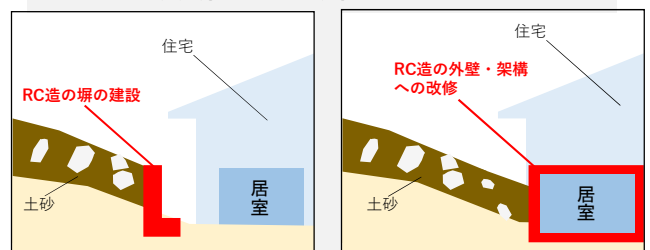
たとえば

鉄筋コンクリート造(RC造)の塀の建設に500万円かかる場合、一部費用の**75万9千円**の補助金を受けて土砂災害対策ができます。

土砂災害に対して安全性を有していないもの



土砂災害にする改修のイメージ



【問合せ先】 福山市建設局建築部 建築指導課
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電話番号：(084) 928-1103 FAX：(084) 928-1735
メールアドレス：kenshi@city.fukuyama.hiroshima.jp